

No.56

令和8(2026)年2月1日発行

主な内容

特集「先進地行政視察レポート」
.....2～3

皆さんの声を議会へ
(一般質問)4～7

主な議決結果.....7

傍聴してみませんか.....8

たきかわ 市議会 だより

「たきかわ市議会だより」をアプリで読めます!

 マチイロで検索 (iOS・Android 対応)



～第17回議場コンサート～

令和7年12月9日(火)、滝川市議会議場において第17回議場コンサートが開催され、たきかわ車人形ひろみ座の皆さん(4名)が人形劇を披露してくれました。



特集 先進地行政視察レポート

滝川市議会では、先進的な取り組みをしている自治体の施策やアイデアを視察する「行政視察」を2年に1度常任委員会ごとに行っています。今回の特集では、実際に総務文教常任委員会と厚生常任委員会が学んだ行政視察先での先進的な事例や成果をご紹介します。

《 総務文教常任委員会 》

総務文教常任委員会は、市の行政運営や教育・文化などの分野を担当しています。

今回は、防災、教育関連の視察、國學院大學への表敬訪問等を行いました。視察で得た知見を今後の滝川市の防災施策や教育施策に活かし、地域の安全と教育環境の改善に努めていきます。

防災 (東京都福生市)

防災食育センター

【視察目的】

滝川市地域防災計画や小・中学校の食育の参考とする。

【施設概要】

平成23年に発生した東日本大震災を契機に、国有地無償貸与並びに防衛省の補助・協力を受け、食料供給拠点、避難所、災害備蓄庫などの各機能を兼ね備えた総合的な災害時対応施設として総事業費約40億円をかけて整備されました。

- 敷地面積：9,807.58㎡
- 建築面積：3,847.82㎡
- 延べ面積：4,844.84㎡
- 規模構造：鉄骨造・RC造 地上2階 耐火建築物
- 調理能力：4,000食（最大4,500食）



備蓄倉庫



給食を作る様子

【応急給食機能】

平時は市内小中学校10校に給食を提供する調理センターとして機能しています。災害発生時には約15,000人分のおにぎりや汁物などの応急給食を3日間提供することができる備蓄体制を整え、炊飯システムや自動成型機を導入し、1時間に1,800個ものおにぎりが製造可能で、徹底した省人化・省労力化を図りつつ、緊急時の迅速かつ効率的な応急給食の提供が可能となっています。避難所として約310名の収容ができ、毛布、救護用テント、簡易トイレ、非常用発電機などを備えた防災備蓄倉庫でもあり、また、調理風景の見学や防災・衛生管理、食育に関する学びの場を提供しています。

教育 (東京都)

JETの運用実態について

【視察目的】

東京都のJETの運用実態や問題点などを把握し、グローバル人材の育成を学ぶ。

【運用実態】

東京都教育委員会では、常勤の外国語補助員を「JET」、時間給の外国語補助員を「ALT」と呼び、それぞれの学校に配置することで、異文化交流を含め、グローバル人材の育成に取り組んでいます。平成25年度から*JETプログラムを活用し、段階的に配置を拡大、令和6年の夏からは、すべての都立高等学校において1校あたり2名の配置を実現させました。

JETの配置拡大を通じて、授業内外での英語を用いたコミュニケーション機会の増加や、オンライン英会話の実施等を組み合わせることにより、「使える英語力」の育成の推進を目指しています。



【研修実施状況】

自国と日本の文化の違いを認識した上で、学校の一員として様々な状況に適切に対処できるようにするため、来日直後のJETに対して、東京都の教育制度や日本での生活に関する知識を身につけてもらうための研修を実施しています。また、学校内での教員や生徒と関わる中で発生しうる、様々な状況を想定したケーススタディも実施しています。

*「JETプログラム」は8ページの「用語を理解して議会をもっと身近に！」を参照

ト

総務文教常任委員会
10/20～10/22
厚生常任委員会
10/27～10/29



総務文教常任委員会



厚生常任委員会

《 厚生常任委員会 》

厚生常任委員会は、福祉・医療・子育て・健康づくりなどの分野を担当しています。

今回は、子育て支援や高齢者の福祉施策、健康づくりの推進、医療体制や社会的養護などのテーマについて視察を行いました。視察で得た知見を活かし、市民が安心して暮らせるまちづくりを着実に前進させていきます。

子育て支援

(兵庫県明石市)

あかしこども広場

【視察目的】

保護者の利便性を重視した子育て支援拠点や、相談機能の一体化について学ぶ。



【施設概要】

駅前の商業施設「パピオスあかし」内に整備された子育て支援施設で、誰もが気軽に立ち寄れる“日常的な支援拠点”として機能しています。親子が自由に遊べる交流スペースや子育て相談窓口が一体的に配置され、保護者が子どもを見守りながら専門スタッフに相談できる点が特長です。市民は遊び場を無料で利用でき、市内児童の一時保育は1時間あたり400円です。

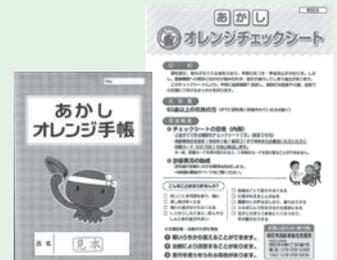
高齢者福祉

(兵庫県明石市)

認知症あんしんプロジェクト

【視察目的】

高齢者が安心して暮らし続けられるための取り組みについて学ぶ。



【事業概要】

認知症の早期発見と支援体制の強化を目的とし、認知症診断費用の全額助成や、在宅で生活する認知症高齢者には「認知症サポート給付金」の支給など、経済的負担の軽減と早期受診の促進を図っています。「あかしオレンジ手帳」の交付により、市民・事業者・行政が連携した見守り体制の構築も進めています。

健康増進

(奈良県天理市)

健康ポイント事業

【視察目的】

市民の健康増進のための取り組みについて学ぶ。



【事業概要】

市内在住の20～69歳を対象とした、市民の健康づくりを促進するための制度です。がん検診や特定健診の受診、ウォーキングなどを組み合わせ、「健康ポイント」を計3点以上取得すると、地域通貨「ichica」が1,000ポイント付与されます。参加は先着300人に限定されますが、スマートフォンアプリ「prairie」やカードで記録管理を行えます。

社会的養護

(大阪府大阪市)

社会福祉法人恩賜財団済生会支部 大阪乳児院

【視察目的】

関係機関との連携による乳児の包括的な養育体制について学ぶ。



【施設概要】

様々な事情で家庭での生活が難しい0～2歳児を受け入れる乳児院で、保育士・看護師・栄養士・心理士などの多職種が連携し、24時間体制で養育を行っています。併設する済生会中津病院との医療連携により、医療的ケアを必要とする乳児にも対応可能です。さらに、里親支援やショートステイ、地域交流など多様な支援事業を展開し、子どもが健やかに成長できる環境づくりを目指しています。

皆さんの声を議会へ



本市議会では、6月・9月・12月の各定例会において市政全般にわたって事業の執行状況や将来に対する方針などについて質問し、執行機関からの報告・説明などを求める一般質問が行われています。一般質問は、住民から重大な関心と期待を持たれていることについて問いかけ、議員自らが提言を行い、政治姿勢を示すことができる大事な議員活動の場です。

本会議場での議員一人当たりの質問時間は30分以内となっています。今議会では2日間にわたり行われ、13名の議員が質問しました。

質問者	質問項目
荻野 仁史 (市民ネットワーク)	B & G あそりバ開設に向けた公共交通の整備 不用品の売却 飲食店の存続 菜の花まつり
関藤 龍也 (市民ネットワーク)	力強い産業の創出 特定技能実習生の実態把握 教職員の労働環境の実態把握 教職員の不祥事防止対策
柴田 文男 (会派清新)	人口減少下におけるまちづくり 砂川地区広域消防組合と統合合併の取り組み
福井 雅章 (新政会)	二元代表制における責任の取り方 市全体の重要課題と位置づけた市立病院 第3期滝川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 滝川市人口ビジョン 病床廃止
荒木 文一 (市民ネットワーク)	一般会計からの繰り出し金 地域医療構想モデル推進区域
藤田 哲也 (市民ネットワーク)	財政見通し 公共施設個別施設計画 職員の確保と定着に向けた取り組み
安楽 良幸 (新政会)	滝川駐屯地の支援 令和8年度以降の住宅施策
好川 章 (新政会)	農業従事者の高齢化と後継者対策 スマート農業 認知症関係対策 介護人材の確保 民生委員活動
三上 裕久 (公明党)	滝川駅周辺地区再生整備事業 財源確保の取り組み 市職員の短時間分の時間外勤務手当 ヒグマ出没時の対応 滝川市奨学金返済支援制度
木下八重子 (会派清新)	災害時におけるペットとの同伴避難 補聴器購入費助成
高橋江海子 (会派清新)	明るい街づくり 職員へのカスタマーハラスメント対策 女性用防災備蓄品の運用及び有効活用 ヒグマ対策
寄谷 猛男 (日本共産党)	滝川駅周辺地区再生整備事業 ヒグマ出没情報の住民周知 街路樹適正化計画 学校等給食費の無償化
田村 勇 (新政会)	ガソリン等の暫定税率廃止による影響 滝川ふれ愛の里の今後の方策 部活動 滝川市民文化祭 滝川市文化連盟からの要望事項

第4回定例会 一般質問から

市内飲食店の存続について



荻野 仁史 (市民ネットワーク)



問 11月11日発行の日本経済新聞の一面には飲食店の倒産件数が過去最多とあった。背景には物価高、人件費の高騰、なり手不足など様々な問題が生じており、本市も例外ではない。飲食店の支援に向けた本市独自の補助金等は可能であるかを伺う。

答 事業所実態把握調査において、人材確保、利益の減少をあげる事業者が複数いました。国の補正予算に含まれる物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金は、予算の可決を見据えながら、趣旨を十分に鑑み、活用策の検討を進めていきます。また、物価高騰対策や人件費高騰への対応策とし、本交付金の活用に力点を置きますが、現時点では市独自の新たな補助金制度の創設については、検討していない状況となっています。

産業振興と教育行政について



関藤 龍也 (市民ネットワーク)



問 地元企業の人材不足に対し、どのような支援策を考えているのかを伺う。

答 学生に対し、なかそらち合同企業説明会や札幌圏大学の学生を対象に地元企業との交流会を実施しており、市内企業と連携して奨学金返済支援制度も創設しています。また、学校や企業のニーズを踏まえ、地元定着を図りたいと考えています。

問 教職員は様々なストレスを感じている。労働実態をどのように把握し、対策を講じているのか、また、相談窓口はあるのかを伺う。

答 時間外勤務の報告を受け、教頭・主幹教諭会議にて時間外勤務の縮減推進のお願いをしています。また、道教委による電話やメールでの相談やSOSを広く受け止め、相談窓口を各学校に周知しています。

広域的まちづくりについて



柴田 文男 (会派清新)



問 人口減少が加速している。クマ出没や大火災における空き家問題など、人口減少による思いもよらない問題が多発している。住民生活に大きな悪影響が起ころぬよう中空知全体の問題として、対策を早急に打つ必要があると思われるが、市の考えを伺う。

答 これまで広域圏を通じて、中空知地域の振興を図るということが一般的でありましたが、現在においては全国的に広域圏はありません。今後は、5市5町との連携や中空知振興局や北海道開発局に協力をいただきながら人口減少にしっかりと対応できる新たな組織や機能づくりに努めるとともに、専門性の高い職員を確保し、広域的医療や広域的防災対策などのあり方を検討しながら、中空知圏域の住民の生活を守っていきます。

二元代表制における責任の取り方について



福井 雅章 (新国会)



問 保留とされた新採用看護師の初任給減額案に先立ち、市立病院経営責任者でもある市長としては、まず特別職の報酬減額を検討するのが本来の道理であると考え、市長の見解を伺う。

答 金銭的な責任を負うべき過失を犯したという認識はありませんので、そのような検討は行いません。しっかりと国・北海道に訴え、また病院職員と連携しながら経営改善に努めることが私の最善の道であると考えます。

問 議員報酬減額についても検討が必要である。首長として議会に協力を求め、病院の窮地を救う意思があるのかを伺う。

答 そのような問題は議員の皆さんで検討していただきたいと考えていますので議員に対し減額をお願いする考えはありません。

滝川市立病院の運営について



荒木 文一 (市民ネットワーク)



問 地方交付税に係る一般会計からの繰出金について、令和6年度を含む過去30年における本来繰出されるべきであった金額と、実際との差額はいくらかを伺う。

答 旧病院施設の時期については、繰出基準額が現在より少なかったこともありましたが、差額については、30年間で約83億円となっています。

問 地域医療構想モデル推進区域の関係会議での主な論点について伺う。

答 疾患・重症度に応じた急性期医療の役割分担、入院後の流れのルール化、外来・在宅医療提供体制や地域医療連携推進法人の検討、地域での医師・看護職員等医療従事者確保策などについて検討し、令和8年度以降は取り組みを加速し稼働させることとしています。

財政見通しについて



藤田 哲也 (市民ネットワーク)



問 駅前再整備事業再開の際は、財政シミュレーションの提示を予定しているが、子育てと健康の拠点複合施設事業は作成せず進める方針と聞いている。両事業の判断基準の違いと、複合施設の財政見直し提示について伺う。

答 財政見直しについては、適切なタイミングで提示していきます。

問 公共施設個別施設計画の趣旨・目的を確認した上で、「長期的な方針」としての位置づけと、財政・社会情勢の変化に応じた柔軟運用との整合性について伺う。

答 公共施設個別施設計画は実施計画として柔軟運用の側面を持っており、財政負担の軽減や平準化などを目指しているため、大きな補助金の獲得などが見込まれる場合には機会を逃さず積極的に取り組みたいと考えています。

第4回定例会 一般質問から

滝川駐屯地の支援について



安楽 良幸 (新政会)



問 滝川駐屯地が創立され、今年で70周年を迎えた。この間、国防や災害派遣等多様な任務を遂行しつつ、本市の経済発展や民生安定などに多大な貢献をしていただいている。その駐屯地に対して地域として支援ができないかを関係団体と協議し、近傍に火薬庫が欲しいとの部隊側からの要望を受け、本市として火薬庫誘致の要望活動を実施すべきと考えるが、市長の見解を伺う。

答 滝川駐屯地は本市にとって必要不可欠です。また、即応機動連隊になった時から近傍に火薬庫が必要と誰しもが認識しているところです。今後、具体的に火薬庫誘致が本市にどのような利点があるのか、またどのように駐屯地に貢献できるか、市民の声を聞きながら慎重かつ前向きに検討します。

スマート農業について



好川 章 (新政会)



問 滝川市の農業の将来像をどう描いているのかを伺う。

答 交付金に過度に依存しない農業経営を実現することで、農業は魅力的な職業となり、就農希望者が増加すると考えています。

問 介護事業所の人材不足への対策と外国人介護人材の雇用について考えを伺う。

答 講座等の開催や、事業所と連携した研修会を実施しています。外国人介護人材の雇用は人員不足解消の手段として考えていますが、事業所ごとの考えがあるため、情報提供を通じて各事業所の状況把握に努めていきます。

問 民生委員の定数不足解消への取り組みについて伺う。

答 本市では、職務負担軽減等を継続し、定数や地区の見直し等を進めていきたいと考えています。

新たな事業を進めるための財源確保について



三上 裕久 (公明党)



問 市の行っている事業を総点検することで無駄を削減し、そこで生まれた財源を新たな事業へ振り向けるべきと考えるが、見解を伺う。

答 今後、より一層、事業の点検・検証を進め、選択と集中による行政運営を図っていかねばならないと考えています。

問 市が保有する遊休施設の売却・有償貸付を積極的に進め、その収益を新たな事業への財源にすべきと考えるが、見解を伺う。

答 個人への売却を行うマッチングサービスの活用事例についても勉強し、今後、検討していきます。

問 市が保有する19種類の基金(貯金)を一括して効率的に運用し、その収益を財源とすべきと考えるが、見解を伺う。

答 資金運用の安全性等を考慮し、今後、検討していきます。

ペットとの避難について



木下八重子 (会派清新)



問 災害発生時にペット同伴で避難できる施設はあるのか、また、避難訓練などを検討してはどうかと考えるが、見解を伺う。

答 動物が苦手な方や動物アレルギーを持つ他の避難者もいることから、ペットと同じ空間で生活する同伴避難は想定していませんが、ペットと人の生活エリアを分けた同行避難は可能としています。避難訓練については、引き続き実施を検討していきます。

問 認知症予防の観点から補聴器購入の助成制度を検討すべきと考えるが、見解を伺う。

答 現在、国の加齢性難聴者に対する補助制度はありませんが、制度の創設について全国市長会が国等に対して要請を行っていますので、今後も国の動向を注視していきます。

防災備蓄とヒグマ対応について



高橋江海子 (会派清新)



問 避難所の備蓄品の生理用品が5年以上更新されていないと確認した。SDGsの観点からも教育機関と連携し、循環配備する方法をとってみてはどうか。

答 有効な活用方法として考えますが備蓄計画の見直しを図った上で検討していきたいと考えています。

問 9月末の南滝の川でのヒグマ出没対応と今後の対策を伺う。

答 糞や食害、爪痕や鳴き声を確認され、箱罠・センサーカメラの設置やパトロール、ドローン捜索を行いました。捕獲には至りませんでした。捕獲できた場合、緊急銃猟ではなく、電気止め刺しを使い駆除を行うことを新十津川町のハンターの方と調整しました。農村部と違い、学校や公園に隣接する場所の特性上、出没前の対策は難しいことをご理解ください。

学校給食費の無償化について



寄谷 猛男 (日本共産党)



問 市の財源を充てて学校給食費の無償化を実現する考えを伺う。

答 小学校の給食費の国費による無償化は非常に不透明な状況です。現在、本市が独自に実施している物価高騰分の公費負担を財源として小学校給食費を無償化できるよう検討していきたいと考えています。中学校の給食費については、物価高騰分を補えるよう内部協議を進めたいと考えています。

問 駅周辺整備事業を確実に再開するためには、財源の確保とともに必要度の高い施設から優先的につくることで施設のコンパクト化や分散化を図る計画に変更すべきと思うが、考えを伺う。

答 様々な可能性を検討しますが、現時点では進め方など、今後の展開についてお答えできる段階ではありません。

滝川ふれ愛の里について



田村 勇 (新政会)



問 入館者数は近郊の温泉施設より多いが、収入に結びついていない。今後の収益向上策について伺う。

答 令和5年度に実施しました滝川ふれ愛の里等の事業性調査に基づき、外客誘致・観光拠点機能の強化を図るため、宿泊施設を付加するプランが選択肢の一つとして示されましたが、当時の判断としては、最大限施設を活用しつつ、当面リニューアルを行わず、入浴機能を維持するプランを選択したところ。集客力向上に向け、SNSなど効果的な広報によるコテージ宿泊客の確保、コテージやキャンプ場の宿泊料金改定などに取り組んできたほか、今後は来年5月に開設予定の新B&G海洋センターとの相乗効果に期待をしているところ。

令和7年第4回定例会議決結果

議案番号	件名	議決結果
選任第1号	議会改革特別委員会の委員並びに委員長及び副委員長の選任について	選任
報告第1号	専決処分について（令和7年度滝川市一般会計補正予算（第4号））	報告承認
報告第2号	監査報告について	報告済
報告第3号	例月現金出納検査報告について	報告済
議案第1号	令和7年度滝川市一般会計補正予算（第5号） ふるさと納税寄附金額の増額に伴う返礼品等の費用の増額、令和7年度施設整備費の確定等に伴う中空知衛生施設組合負担金の減額、北海道の畑地化促進事業補助金を受けて行う土地改良区決済金等支援補助金の交付、防災行政無線修繕業務及び*全国瞬時警報システム新型受信機等整備工事、寄附者の意向による図書館の図書購入、市税に係る還付金及び還付加算金の増額、旧スマイルビル残置物処分委託料の支払いに係る*債務負担行為の設定、バス車両購入負担金の支払いに係る債務負担行為の設定などによる補正です。	原案可決
議案第2号	令和7年度滝川市公営住宅事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第3号	令和7年度滝川市介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第4号	滝川市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例 地方公共団体の一般職の任期付職員の採用に関する法律に基づき、一般職の職員の任期を定めた採用及び任期を定めて採用された職員の給与の特例に関し必要な事項を定めるための条例の制定です。	原案可決
議案第5号	滝川市特定乳児等通園支援事業の運営に関する条例 子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律の施行に伴う条例の制定です。	原案可決
議案第6号	児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴う子ども家庭庁関係内閣府令の整備等に関する内閣府令等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例 児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴う子ども家庭庁関係内閣府令の整備等に関する内閣府令等の施行に伴う関係条例の改正です。	原案可決
議案第7号	滝川市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例 滝川市立病院の経営改善の取組として、許可病床数を199床に削減するための改正です。	原案可決
議案第8号	公の施設の指定管理者の指定について（総合交流ターミナルたきかわ）	原案可決
議案第9号	公の施設の指定管理者の指定について（市営住宅等）	原案可決
議案第10号	市道路線の認定及び廃止について ○認定する路線 14路線 路線の延長 17,223m ○廃止する路線 20路線 路線の延長 16,934m	原案可決
議案第11号	滝川市の公の施設の雨竜町民の利用について 雨竜町の児童生徒が市の適応指導事業を利用するに当たり協定書を締結するための協議です。	原案可決
議案第12号	議会改革特別委員会の設置について	原案可決
議案第13号	滝川市議会会議規則の一部を改正する規則	原案可決
諮問第1～3号	人権擁護委員候補者の推薦について 高嶋弘美氏、斎藤寛氏、芳賀伸吾氏が推薦されました。	可と答申
意見書案第1号	食料・農業・農村政策確立に関する予算の拡充等を求める要望意見書	原案可決
意見書案第2号	地方の福祉人材確保の取組に向けた財政措置を求める要望意見書	原案可決
意見書案第3号	危機的状況にある自治体病院の存続に向けた財政支援を求める要望意見書	原案可決
	厚生常任委員長の付託事件審査報告 （請願第2号 市民のいのちと健康を守る「地域医療」を維持するために衆参議院・政府及び関係省庁への「意見書」上申を求める請願 令和7年11月18日付託／不採択とすべき）	不採択

令和7年第4回臨時会議決結果

議案番号	件名	議決結果
議案第1号	令和7年度滝川市一般会計補正予算（第6号）	原案可決
議案第2号	令和7年度滝川市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第3号	令和7年度滝川市公営住宅事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第4号	令和7年度滝川市介護保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第5号	令和7年度滝川市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第6号	令和7年度滝川市下水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第7号	令和7年度滝川市病院事業会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第8号	一般職の職員の給与に関する条例及び滝川市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	原案可決

* 議案第1号～第8号は、令和7年人事院勧告に伴い、期末手当および給与の改正を行うものです。

* 「全国瞬時警報システム」「債務負担行為」は8ページの「用語を理解して議会をもっと身近に！」を参照



議会改革特別委員会の設置

次期改選期に向けた議会運営のあり方を検討するため、令和7年第4回市議会定例会において議会改革特別委員会を設置しました。全国的な共通課題である議員のなり手不足をはじめ、議員定数、議員報酬など議会運営全般についての調査・審議を行います。

【委員構成】（7人）

◎柴田 文男、○安樂 良幸、
寄谷 猛男、藤田 哲也、堀 重雄、
関藤 龍也、田村 勇

※◎委員長 ○副委員長

用語を理解して議会をもっと身近に！

■JETプログラム（P2）

「語学指導等を行う外国青年招致事業」の略称で、主に海外の青年を招致し、地方自治体、教育委員会及び全国の小・中学校や高等学校で、国際交流の業務と外国語教育に携わることにより、地域レベルでの草の根の国際化を推進することを目的とした事業です。

■全国瞬時警報システム（P7）

弾道ミサイル情報、緊急地震速報、大津波警報など、対処に時間的余裕のない事態に関する情報を、市町村防災行政無線等により、国から住民まで瞬時に伝達するシステムで、「J-ALERT(ジャラート)」と呼ばれています。

■債務負担行為（P7）

複数年度にわたる大きな契約を結ぶ際に、将来の支払いを約束するため、契約に基づく支払い義務を予算であらかじめ確保する仕組みです。

気軽に！手軽に！ネット中継!!

滝川市議会では、YouTube（ユーチューブ）により会議の様子をインターネット上で配信します。視聴される場合は、「滝川市議会YouTubeチャンネル」をクリックしてください。



たきかわ市議会
ホームページQR

傍聴してみませんか

令和8年第1回滝川市議会定例会
開催予定日をお知らせします。



日	月	火	水	木	金	土
3/1	2 本会議	3	4	5	6	7
8	9	10 本会議 代表質問	11 本会議 代表質問	12	13	14
15	16	17	18 本会議	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

※矢印は会期を示します。

開催日は変更する場合がありますので、傍聴の際は日程を確認してください。

問い合わせ 議会事務局 ☎28-8048

編集後記

暦の上で春を迎えますが、まだまだ寒さ厳しい日が続いております。皆さまお変わりなくお過ごしでしょうか。今回の特集では、常任委員会の行政視察を通じて他自治体の工夫を学び、滝川市の市政に活かす取り組みをご紹介します。議員それぞれが市民生活の向上を願い、知見を持ち帰る姿勢は大切にしていきたいと思います。また、自己研鑽としてハラスメント防止の講座や、ペーパーレス化に向けたタブレット研修にも挑戦しています。

日々の学びを積み重ね、市民の皆さまに信頼される議会を目指してまいります。

たきかわ市議会だより編集委員会
委員 福井 雅章

発行責任者 滝川市議会議長 山本 正信